

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																																	
九州工科自動車専門学校	昭和28年11月10日	千綿 伸洋	〒860-0816 熊本市中央区本荘町657番地 (電話) 096-366-3862																																	
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																																	
学校法人 九州総合学院	昭和62年7月16日	川越 宏樹	〒860-0816 熊本市中央区本荘町657番地 (電話) 096-366-3862																																	
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																																
工業	工業専門課程	自動車整備科	平成6年文部科学省 告示第84号	無																																
学科の目的	「より高い人格・練磨された技能」を教育方針とし、めざましい技術革新の続く現代社会に十分対応できる人材の育成及び未来の自動車整備業界を担う人材の育成を目的とする。																																			
認定年月日	平成26年3月31日																																			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験 実技																														
2	昼間	1984 時間	664 時間	0 時間	1320 時間	0 時間 0 時間																														
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																															
190人	165人	77人	13人	3人	16人																															
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験 60点以上																																
長期休み	■学年始:4月1日～4月10日 ■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月25日～1月10日 ■学年末:3月20日～3月31日		卒業・進級 条件	成績評定及び受講時間数																																
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 保護者連携、面談対話		課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 硬式野球部 ■サークル活動: 無																																
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) 自動車業界		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)																																
	■就職指導内容 マナー研修・履歴書の記入方法・企業説明会参加 ■卒業生数 47 人 ■就職希望者数 46 人 ■就職者数 46 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 97 % ■その他			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガス溶接</td> <td>③</td> <td>47人</td> <td>47人</td> </tr> <tr> <td>アーク溶接</td> <td>③</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>危険物取扱資格</td> <td>③</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>フォークリフト運転免許</td> <td>③</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>ハイブリッド取扱者資格</td> <td>③</td> <td>45人</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>損害保険募集人</td> <td>③</td> <td>47人</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>2級自動車整備士</td> <td>②</td> <td>47人</td> <td>45人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	ガス溶接	③	47人	47人	アーク溶接	③	8人	8人	危険物取扱資格	③	1人	1人	フォークリフト運転免許	③	4人	4人	ハイブリッド取扱者資格	③	45人	45人	損害保険募集人	③	47人	42人	2級自動車整備士	②
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																																	
ガス溶接	③	47人	47人																																	
アーク溶接	③	8人	8人																																	
危険物取扱資格	③	1人	1人																																	
フォークリフト運転免許	③	4人	4人																																	
ハイブリッド取扱者資格	③	45人	45人																																	
損害保険募集人	③	47人	42人																																	
2級自動車整備士	②	47人	45人																																	
中途退学 の現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0% 平成29年4月1日時点において、在学者141名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者106名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由		■中退防止・中退者支援のための取組 補習、職員の対話作戦、情報共有、保護者との連携、電話作戦、生活指導、自宅訪問																																	
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度 有 在校生特待制度:1年次の成績に応じて、優秀者は学費減免が適用される。 ■専門実践教育訓練給付 給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 2名																																			
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価 無																																			
当該学科の ホームページ URL	<a href="http://kyukoo.ac.jp/">URL:http://kyukoo.ac.jp/</a>																																			

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「1年」資格取得などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱わず)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

自動車整備科は、整備士の養成を教育目的とし、自動車業界等の企業関係者を教育課程編成委員会委員に選任し、最新の機械技術による整備業界の専門性の動向、ユーザー環境の新たな指向、整備技術実務に関する知識、技術について、企業関係者からの意見等を十分に反映して、必須科目以外の教科、実体社会に合致した授業内容・実技を中心とした

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

別添「九州工科自動車専門学校 教育課程編成委員会(以下「委員会」という。)の位置付けに関する規程のとおり、校長直轄の組織として委員会を設置し、カリキュラム等の改善・方法に対する意見を聴取、これを基に、校長以下、教務担当者でカリキュラムの内容、改善策について検討し、次年度に向け改善を行っていくこととしている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成〇年〇月〇日現在

名前	所属	任期	種別
梅木 博文	九州産交整備株式会社 代表取締役社長	平成29年8月3日～平成31年8月2日(2年)	③
與繩 裕二	熊本トヨタ自動車株式会社 常務取締役 管理本部長	平成29年8月3日～平成31年8月2日(2年)	③
木村 浩純	熊本日産自動車株式会社 総務部 総務課 部長	平成29年8月3日～平成31年8月2日(2年)	③
渡邊 幸也	熊本トヨペット株式会社 執行役員 管理本部長	平成29年8月3日～平成31年8月2日(2年)	③
浜田 正吾	ネットトヨタ熊本株式会社 営業本部 チーフ	平成29年8月3日～平成31年8月2日(2年)	③
東 信宏	日産プリンス熊本販売株式会社 総務部 総務課 係長	平成29年8月3日～平成31年8月2日(2年)	③
緒方 勝行	(一社)熊本県自動車整備振興会 専務理事	平成29年8月3日～平成31年8月2日(2年)	①
熊谷 朋子	鹿児島情報ビジネス公務員専門学校 校長	平成29年8月3日～平成31年8月2日(2年)	③
川越 宏樹	九州工科自動車専門学校 校長	平成29年8月3日～平成31年8月2日(2年)	③
辻 隆	九州工科自動車専門学校 教頭	平成29年8月3日～平成31年8月2日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年度内に2回以上開催する。(8月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 平成29年8月3日 12:00～15:00

第2回 平成30年2月13日 12:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

今年度の教育課程編成委員会等の意見を次年度の授業内容、方法の改善、工夫に活用する。具体的には学内で困難な特に自動車整備作業で、ハイブリッド車講習、電気自動車等の講習等を企業現場や整備振興会実習工場において連携して実施していく。平成29年度は2回実施する。平成30年度も最先端技術を学ぶために実施する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係		
(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 整備業界の技術的進歩について現場での実習、及び最新の整備技術の実習、特に技術進歩の著しいハイブリッド車、電気自動車等のエンジン構造、技術及び車体の基本等について学習する。 又、業界団体主催の基本研修に参加し、他校との切磋琢磨による学習度をアップさせる。		
(2) 実習・演習等における企業等との連携内容 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記 各社の整備技術の実習、及エンジン構造等の各メーカーによる相違等に伴う実習内容の違い、特にハイブリッド車等の各社整備技術の習得を行う。これらの実習の評価、出欠状況等を明確にし、企業評価表として学校にフィードバックしていく。		
(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
自動車整備作業	エンジン点検・分解・組立・調整・検査	学生内定先企業、卒業生在籍企業
自動車整備作業	シャシ点検・分解・組立・調整・検査	学生内定先企業、卒業生在籍企業
自動車整備作業	電装点検・分解・組立・調整・検査	学生内定先企業、卒業生在籍企業
自動車整備作業	故障原因探求	学生内定先企業、卒業生在籍企業
自動車整備作業	自動車検査作業	学生内定先企業、卒業生在籍企業
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 教職員の研修に関する規定 第2条に基づき、実施する。 ・現在の整備業界の動向、新技術開発等による各メーカー別の技術研修、電気自動車等の構造、装備、車体の研修及び業界団体主催の技術講習会等への参加 ・専各連、文科省、全国自動車整備専門学校協会(以下JAMCAという)等主催による一般教養及び専門学科、技術の研修への参加		
(2) 研修等の実績 ① 専攻分野における実務に関する研修等 メーカー新技術・車両診断についての研修 ◎スカイアクティブ技術セミナー【マツダ株式会社主催】 ・対象: 学科長及び、教員1名 ・8月7日、8日(2日間) ◎SUBARUメカニックインターンシップ【株式会社SUBARU主催】 ・対象: 教員2名 ・8月23日(1日間) ② 指導力の修得・向上のための研修等 新任教職員研修【(一財)職業教育・キャリア教育財団主催】 ・対象: 教員3名 ・8月1日～3日(3日間) 発達障害に関する講演会【熊本市主催】 ・対象: 教員3名 ・7月17日		
(3) 研修等の計画 ① 専攻分野における実務に関する研修等 メーカー新技術・車両診断についての研修 ◎スカイアクティブ技術セミナー【マツダ株式会社主催】 対象: 教員 ◎SUBARUメカニックインターンシップ【株式会社SUBARU主催】 対象: 教員 ② 指導力の修得・向上のための研修等 新任教職員研修【(一財)職業教育・キャリア教育財団主催】 対象: 教員 発達障害に関する講演会【熊本市主催】 対象: 教員		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己点検・評価を職員が一体となって取り組み、自ら学校運営、教育活動を改善していくとともに、特に、本校と関連の深い企業等の関係者、卒業生、業界団体等からなる学校関係者評価委員会を設置して評価を実施し、公表するとともに、この評価に沿った改善を図っていくこととする。また、これらの意見を反映し、学校側の意向に沿ったものに偏りがちな学校運営や教育内容から、真に社会が求める職業に必要な実践的かつ専門的な教育を行うことを第一義とし、学生、保護者の意向にも十分配慮した教育内容及び学校運営を目指す。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校経営
(2) 学校運営	学校経営
(3) 教育活動	教務
(4) 学修成果	教務
(5) 学生支援	進路支援
(6) 教育環境	事務部
(7) 学生の受入れ募集	事務部
(8) 財務	学校経営
(9) 法令等の遵守	学校経営

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

平成29年8月、学校関係者評価委員会を開催し、評価委員の意見を聴取した。その中で、学生の教育成果を披露する機会がないとの意見があり、校内技能コンクールを計画、実施した。内容は、関係企業・団体を招致し、自動車整備・点検のコンクールを行うことで、学生たちの発表の場とするというものであった。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年8月1日現在

名前	所属	任期	種別
梅木 博文	九州産交整備株式会社 代表取締役社長	平成29年8月3日～平成31年8月2日(2年)	企業等委員
與繩 裕二	熊本トヨタ自動車株式会社 常務取締役 管理本部長	平成29年8月3日～平成31年8月2日(2年)	企業等委員
木村 浩純	熊本日産自動車株式会社 総務部 総務課 部長	平成29年8月3日～平成31年8月2日(2年)	企業等委員
渡邊 幸也	熊本トヨペット株式会社 執行役員 管理本部長	平成29年8月3日～平成31年8月2日(2年)	企業等委員
浜田 正吾	ネットトヨタ熊本株式会社 営業本部 チーフ	平成29年8月3日～平成31年8月2日(2年)	企業等委員
東 信宏	日産プリンス熊本販売株式会社 総務部 総務課 係長	平成29年8月3日～平成31年8月2日(2年)	企業等委員
吉本 龍生	九州自動車産業開発株式会社 代表取締役社長	平成29年8月3日～平成31年8月2日(2年)	企業等委員
緒方 勝行	(一社)熊本県自動車整備振興会 専務理事	平成29年8月3日～平成31年8月2日(2年)	企業等委員
熊谷 朋子	鹿児島情報ビジネス公務員専門学校 校長	平成29年8月3日～平成31年8月2日(2年)	グループ校校長

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ

<http://kyukoo.ac.jp/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学科の内容、学生支援、学生納付金、学校評価等については、ホームページで公開していくこととする。今後もホームページを充実し、情報提供を積極的に行い、学校関係者の理解、評価を促進し、適切な学習機会の選択に資するとともに、社会に対する説明責任、学校関係者からの意見を聴取しながら、教育の質の更なる向上を図っていくこととする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要
(2) 各学科等の教育	学科・コースの特色
(3) 教職員	学校概要
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職支援・実績
(5) 様々な教育活動・教育環境	年間スケジュール
(6) 学生の生活支援	学校概要
(7) 学生納付金・修学支援	入学案内
(8) 学校の財務	学校の財務の状況
(9) 学校評価	平成28年度自己点検・評価、学校関係者評価

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ

<http://kyukoo.ac.jp/>

## 授業科目等の概要

(工業専門課程自動車整備科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			自動車工学	ガソリンエンジン構造・性能	1 前	33		○			○		○		
○			自動車工学	ガソリンエンジン構造・性能	2 前	44		○			○		○		
○			自動車工学	シャシ構造・性能	1 前	33		○			○		○		
○			自動車工学	シャシ構造・性能	2 前	44		○			○		○		
○			自動車工学	ジーゼルエンジン構造・性能	1	33		○			○		○		
○			自動車工学	電装品構造・性能	1	33		○			○		○		
○			自動車工学	電装品構造・性能	2 前	17		○			○		○		
○			自動車工学	自動車の力学・数学	1	33		○			○		○		
○			自動車工学	自動車の力学・数学	2	33		○			○		○		
合計				科目	単位時間( 単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車整備科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			自動車工学	電気電子理論	1	33		○			○			○	
○			自動車工学	自動車材料	1 前	17		○			○			○	
○			自動車工学	燃料・潤滑剤	1 後	17		○			○		○		
○			自動車工学	図面	1 後	17		○			○			○	
○			自動車整備	ガソリンエンジン整備	1 後	33		○			○		○		
○			自動車整備	ガソリンエンジン整備	2 後	22		○			○		○		
○			自動車整備	シャシ整備	1 後	33		○			○		○		
○			自動車整備	シャシ整備	2 後	22		○			○		○		
○			自動車整備	ジーゼルエンジン整備	2	28		○			○		○		
合計					科目		単位時間( 単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車整備科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			自動車整備	電装品整備	2後	11		○			○		○		
○			自動車整備	故障原因探求	2	50		○			○		○		
○			機器の取扱・ 構造	整備作業機器	1前	9		○			○		○		
○			機器の取扱・ 構造	測定機器	1前	8		○			○		○		
○			機器の取扱・ 構造	検査機器	2前	17		○			○		○		
○			自動車検査	自動車検査	2後	22		○			○		○		
○			自動車整備に 関する法規	自動車整備に関する法規	2前	22		○			○		○		
○			工作作業	手仕上げ作業	1前	11					○	○	○	○	
○			工作作業	機械工作	1前	11					○	○	○	○	
合計				科目	単位時間( 単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(工業専門課程自動車整備科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			測定作業	基本測定	1 前	44				○			○	○	
○			自動車整備作業	エンジン点検・分解・組立・調整・検査	1 前	242				○			○	○	
○			自動車整備作業	エンジン点検・分解・組立・調整・検査	2 前	220				○			○	○	○
○			自動車整備作業	シャシ点検・分解・組立・調整・検査	1 後	198				○			○	○	
○			自動車整備作業	シャシ点検・分解・組立・調整・検査	2 後	154				○			○	○	○
○			自動車整備作業	電装点検・分解・組立・調整・検査	1 後	154				○			○	○	
○			自動車整備作業	電装点検・分解・組立・調整・検査	2 後	154				○			○	○	○
○			自動車整備作業	故障原因探求	2 後	77				○			○	○	○
○			自動車検査作業	自動車検査作業	2 後	55				○			○	○	○
合計					9 科目	1984単位時間( 単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
成績評定及び受講時間数	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	33週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。